

麦の穂

102
令和6年
1月10日発行

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年のあいさつ

令和7年1月1日
医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
理事長 荒木 攻

皆様、明けましてお目出度うございます。

今年の干支は乙巳（きのとみ）です。去年は令和6年能登半島地震で年が明けましたが、今年はどんな年になるのでしょうか？

御承知の通り、今、世界情勢は極めて流動的で、世界秩序も不透明感を増しています。このような情勢の中で、核兵器使用の危機は一層高まってきており、そのリスクは1962年のキューバ危機以来最も高くなっていると言われていいます。核兵器を用いた戦争は地球上の人類を全滅させてしまうのは明白です。「核兵器と人類は共存できない」は、まさにその通りです。

このようなタイミングに、昨年10月11日、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が2024年のノーベル平和賞を受賞するという大きな朗報が入ってきました。12月10日、授賞式がノルウェー・オスロで行われ代表委員の田中熙巳（てるみ）さんが演説をし「人類が核兵器で自滅することのない様に」と強く訴えていたのが印象的でした。日本被団協のこの受賞は「核兵器と人類は共存できない」ということを世界に強く発信され、その効果たるや絶大なものがあったと思われれます。核兵器の怖さを肌で知る我々一広島市民として大きな拍手を送るところであります。

扨て、我々の世界では地域医療構想2025は今年で一応終えることになります。地域医療構想は2025年から2040年へ向けて新たな焦点が移ってきています。戦後間もなくして（1948年）医療法が制定されましたが、38年間手付かずで、私達が開院した1986年にはじめて第一次医療法改正が行なわれ、全国の病床数総量規制がはじまりました。その後の度重なる医療法改正により、私達中小病院は大海の荒波に揉まれる小舟の如く漂いながら上陸地点を探しています。地域医療構想2040では、厚生労働省から地域医療機関機能を、地域での4分類と広域での機能の「4+1」に整備する案が出され議論されています。「地域ごとの医療機関機能の4分類」とは、高齢者救急等機能、在宅医療連携機能、急性期拠点機能、専門等機能を有する病院とされ、広域ごとの医療機関機能1つとは、医育及び広域診療機能を有する病院とされています。上述の医療機関の名称とか内容については更なる議論が必要なのですが、私達荒波に揉まれる小舟の上陸地点はそちらの方向にある様です。

今年も皆様の御健勝、ご多幸を祈念いたします。

もくじ

- 1 新年のあいさつ
- 2 窒息・誤嚥防止研修会を行いました / 認知機能セルフチェッカーのご案内
- 3 学会参加報告 / アラキズルームの「リトミック参観」について
- 4 第40回西区民まつりに参加しました / 管理栄養士のおすすめメニュー
- 5 近隣医療機関のご紹介 —（古江駅前内科）—

窒息・誤嚥防止研修会を行いました

令和6年9月吉日、医療安全対策管理委員会企画「窒息・誤嚥防止研修会」を、摂食嚥下支援チーム、福利厚生委員会の共催で開催し、診療部、看護部、リハビリ部、放射線部、事務部のほか関連施設から計70名の多職種の参加がありました。

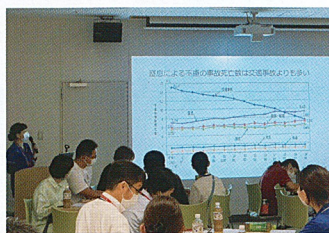
第1部は、「窒息・誤嚥ゼロ」の取り組みを各職種の立場から、医師、歯科衛生士、放射線技師、栄養士、薬剤師、言語聴覚士、摂食・嚥下障害看護認定看護師がリレー形式で発表を行い、第2部は、多職種で食事しながら日頃の摂食支援の悩みなどを語り合い、新たな取り組みである『嚥下ポスト』の活用について紹介をしました。

『嚥下ポスト』はザイオン(院内LAN)から、嚥下や誤嚥、食事介助の不安や悩み、さまざまな気づきをつづやいてもらい、摂食嚥下支援チームがサポートするシステムです。リアルタイムで情報を共有し、現場へフィードバックすることで、窒息や誤嚥を未然に防ぐことを目的としています。

研修後、「各職種のプロ意識を感じた、それでも発生する窒息・誤嚥のリスク管理の難しさ」「焦らず窒息解除のアルゴリズムに沿って対応したい」「多職種で意見交換し問題の共有ができた」など、多くの感想をいただきました。

今後も「窒息・誤嚥ゼロ」を目標に、『嚥下ポスト』活動の充実、ステップアップを目的とした研修会を継続し、光臨会全職員で安全で楽しい食事の提供に取り組んでいきたいと思えます。

看護部 看護師 佐藤 理恵



認知機能セルフチェッカーのご案内

この度、「認知機能セルフチェッカー」を導入しました。この検査は、VRと視線追跡技術を利用した認知機能検査で、従来の認知機能検査とも十分な相関がみられています。日頃の認知機能の状態を知るためのスクリーニングを目的としており、約5分の検査で自身の認知機能の状態を把握することができます。最近、物忘れが気になる、言葉がぱっと出てこない、今まで一度も認知機能の検査を受けたことがないけど、ちょっと気になる方におすすめです。

当院の外来の自由診療(検査費用3,300円)での対応となりますので、興味のある方は是非お気軽に受付、もしくはお電話(082-272-1114)にてお問合せ下さい。

リハビリテーション部 公認心理師 西川 大志



検査中の様子



認知機能セルフチェッカー

学会参加報告

令和6年10月2・3日に山梨県甲府市で開催された「リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024」と、11月9・10日に北海道札幌市で開催された「第58回日本作業療法学会」に、それぞれリハビリテーション部から職員が参加し、演題発表を行いました。

＜演題発表を終えて＞

先輩からアドバイスを頂きながら発表に向けて準備を行い、無事当日を迎えることができました。当日は、日頃利用者様に提供しているリハビリについて、多くの方と意見交流を行うことができ、新たな発見や自分自身の励みにもなりました。学会で学んだことを職場で共有し、より良いリハビリテーションを提供していきたいと思えます。

リハビリテーション部 作業療法士 池元 朱音



学会会場（甲府市）



学会会場（札幌市）

アラキッズルームの「リトミック参観」について

当法人では、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境の整備の一環として、365日24時間対応型可能な法人内保育園「アラキッズルーム」を設置しています。内閣府所管の企業主導型保育事業に基づいて、「公益財団法人児童育成協会」が定める認可基準をクリアした保育園です。

この度、令和6年11月12日に「アラキッズルーム」でのリトミック参観に参加してきました。リトミックとは、楽しく音楽に触れながらこれから受ける教育を十分に吸収するための「潜在的な基礎能力」の発達を促す教育とされています。「アラキッズルーム」では、週に1回外部の専門講師を招いたリトミックを行っており、日々の連絡帳には楽しく参加をしている様子が書かれていたため参観日を楽しみにしていました。参観日のリトミックでは、季節にぴったりのいもを題材に、子どもたちは音楽に合わせ順番にフェルトでできたいも掘りをし、前週に色紙で作成した枯葉を使って焼き芋を作りました。日々連絡帳に書いてあった通り、子どもが楽しみながら主体的に参加している姿を見ることができて嬉しく思いました。

私は、日勤日とは別に月に2回「アラキッズルーム」に子どもを預けて夜勤をさせていただいています。預け始めた当初、夜勤をしながら子どもにさみしい思いをさせていないかと心配していましたが、保育士の先生方のおかげで子どもは楽しく過ごせています。連絡帳には夜間の様子が細かく書かれており、夜間預けている間の様子をしっかりと知ることができます。連絡帳から伝わる保育士の先生方のきめ細やかな保育のおかげで安心し、夜勤ができています。これからも安心して子どもを預けられる「アラキッズルーム」にお世話になりながら、自身のキャリアアップにも励んでいきたいと思えます。

看護部 看護師 正原 七海



第40回西区民まつりに参加しました

令和6年11月3日に広島市西部埋立第五公園・広島サンプラザで開催された「第40回西区民まつり」に、当院はふれあい広場にブースを出させていただき、「認知機能セルフチェッカー」、「歩行測定」「キッズ撮影会」を企画致しました。当日はたくさんの方に来訪していただき、盛況のうちに終了することができました。

当院では今後もこのような地域活動を継続し、地域住民の皆様の健康増進に貢献したいと考えております。

リハビリテーション部 理学療法士 木村 隼人



管理栄養士のおすすめメニュー

〈ほうれん草〉

葉先から根元まで多くの栄養素が含まれており、残さず食べられるほうれん草。

ほうれん草には様々な栄養素が含まれていますがその中でもカリウム、鉄、ビタミンA(βカロテン)、ビタミンCが特に多く含まれています。

① **カリウム**

ナトリウムの排泄促進、むくみなどに効果があるミネラルの一種。水に溶けやすいため茹で時間や水にさらす時間に注意。

② **鉄**

赤血球の成分で酸素を体中に運ぶ効果があるミネラルの一種。主に非ヘム鉄が含まれているため効果的に吸収するにはビタミンCと一緒に摂取する必要がある。

③ **ビタミンA**

目の角膜や皮膚の粘膜の健康維持に必要な不可欠な栄養素。不足すると肌や目が乾燥しやすくなったり、感染症に抵抗する力が弱まることもある。

④ **ビタミンC**

歯や骨、毛細血管を正常に保ち、免疫力を高める効果がある栄養素。ほとんどの哺乳類は体内でビタミンCを生成できますが人間はできません。ほうれん草は年間通して購入できますが、夏採りより冬採りのものの方がビタミンC含有量が3倍高いそうです。

水に溶けやすい栄養素を含んでいるため、茹ですぎるとビタミンCが溶け出してしまいます。5分茹ですると約6割のビタミンCが溶けると言われています。茹で時間は短時間に、電子レンジを使用した方が栄養素が残ります。

また、油を使用することでビタミンAなどの吸収率が高くなります。オリーブ油やゴマ油など抗酸化物質が含まれたものを使用すると相乗効果が期待できます。

白菜やキャベツなど葉物の価格が高騰しています。冷凍、サラダ用など使い勝手も栄養も豊富なほうれん草を活用してみましょう。

管理栄養士 池永 知子



☆レンジで時短！ほうれん草のお浸し（2人分）

- ほうれん草 一束
- 醤油 大さじ 1/2
- みりん 大さじ 1/2
- 水 100ml
- 和風顆粒だし 小さじ 1
- 鰹節 適量

1. ほうれん草を洗い、4 cm程度に切り分ける（根本は捨てる）
2. 耐熱容器に入れてレンジで2分加熱する
3. 加熱したほうれん草を冷水で冷ます
4. 熱が取れたら水気を軽く絞って調味料と混ぜる
5. 仕上げに鰹節をのせる



近隣医療機関のご紹介

医療法人尚志会 古江駅前内科

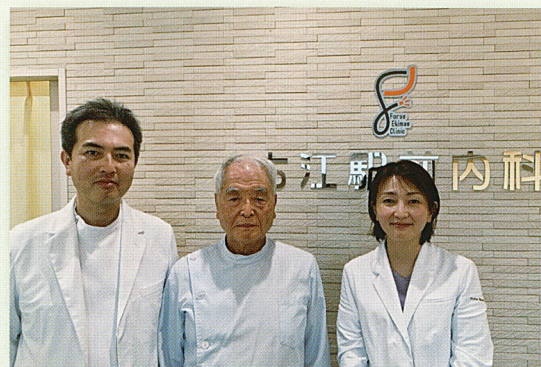
住所：〒733-0873 広島県広島市西区古江新町 3-7

新本ビル 2階

TEL：082-273-1211

診療科目：内科、消化器内科、内視鏡内科

院長：高田 俊介



院長 高田 俊介先生 名誉理事長 高田 尚先生 副院長 高田 さやか先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—
16:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—

*受付時間は午前9:00~12:45まで、午後15:00~17:45まで
*木曜・土曜の午後、日曜、祝日休診になります。

当院は昭和53年に父、高田尚が開院致しました。安佐市民病院を辞した後平成27年4月から私が入りました。昨年6月から私が理事長職を継承し、現在名誉理事長となった父と副院長の妻の3人で診療を行っております。

私は大学卒業後広島大学第一内科に入局し、広島大学病院や広島市立安佐市民病院で消化管疾患を専門にしておりましたので、内視鏡検査をはじめ消化管疾患を中心とした診療を行いたいとの思いで、継承の際に内視鏡検査室や大腸内視鏡の前処置用の個室を作ったりと医院の大改装を行いました。

順調に検査件数が増えておりましたが、コロナ禍で診療形態が大きく変化しました。コロナが猛威を振るっていた時は受診者の数や内視鏡検査が激減し、感染症の診察を行うかどうかの選択を迫られました。当時はコロナ感染で致命的になることもありましたので、防護服を着ながらでも感染症の診察を行うことは自身だけでなく職員の安全を損なうことになるのではとの思いもあり迷いもありましたが、かかりつけ医を目指す以上避けて通ることはできないと腹を括り発熱外来を開始しました。内視鏡の前処置用部屋を感染症が疑われる患者さんの診察用の部屋にあてがい、最初は恐る恐るの診察でしたが、適切な感染対策をとれば容易には感染しないことが体感できるようになりました。未だ発熱を主訴に来院される患者さんは沢山おり、内視鏡件数は少し減ってしまいましたが、訪問診療や在宅医療を行っていない分、地域医療に僅かながらでも貢献できているのでは、と自己満足ですが少し充実感を覚えているところです。

当院は内科ですが、頭痛など頭蓋内疾患が疑われる症状の方が受診されることもよくあります。また、症状や検査結果などから悪性疾患の検索のためにCTやMRI検査が必要になることもしばしばですが、荒木脳神経外科病院には迅速に診察や画像検査を受けてくださり大変感謝しております。今後とも末永いお付き合いをよろしくお願い致します。



受付

外来担当医表 〈荒木脳神経外科病院〉

			月	火	水	木	金	土	
脳神経外科	午前	初診	渋谷	中原	荒木院長	黒川	江本	広大	
		初再診	荒木院長	黒川	渋谷	根石	渋谷		
	午後	初再診	江本	根石	荒木理事長	広大	渋谷	黒川	広大
		初再診							

脳神経内科	午前	初再診		荒木睦子		青木	荒木睦子	荒木睦子
	午後	再診のみ				荒木睦子		

総合診療	午前	初再診	野村 (循環器内科)		野村 (循環器内科)			藤井 (外科:1週) 野村 (循環器内科: 2・3・4・5週)
	午後	初再診	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	藤井 (外科:1週) 野村 (循環器内科: 2・3・4・5週)

診察時間

午前 9時～12時
(初診受付:午前 11時30分迄)
午後 3時～6時
(初診受付:午後 5時30分迄)

診察予約は
082-272-1114 (代表)
へお電話ください。

救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授
第2土曜日 月1回

外来担当医表 〈あらしき 脳・循環器・リハビリクリニック〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初再診	江本		江本	江本	(本院)	江本
	午後	初再診	(本院)		江本	江本	江本	江本

けいれん外来 (小児科)	午前	再診のみ	岸	岸		岸	岸	
	午後	再診のみ	岸	岸		岸	岸	

診察時間

午前 9時30分～12時30分
(初診受付:午前 12時迄)
午後 2時30分～5時30分
(初診受付:午後 5時迄)

※内科 正木先生
毎週火曜

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-1218
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp



ARAKI HEALTHCARE PLAZA

〒733-0821 広島市西区庚午北1丁目5-15

1F デイサービス あらしき

TEL 082-507-6100

1F 荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

2F あらしき脳・循環器・リハビリクリニック

TEL 082-208-4114

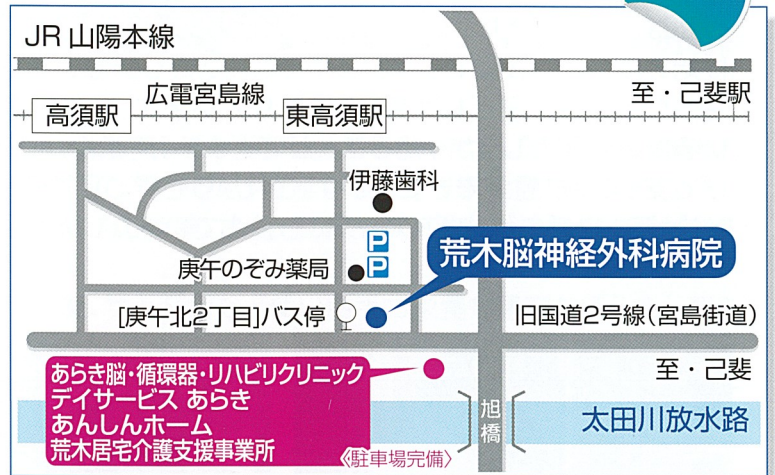
通所リハビリテーション TEL 082-208-4177

訪問リハビリテーション TEL 082-527-1123

4・5F あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

TEL 082-507-6600

案内図



交通案内

- 自動車
西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線 / 「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線 / 「庚午北2丁目」バス停前